

報道機関 各位

平成 29 年度の内部被ばく検査等の実施状況について

市では、平成 23 年 3 月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、独自に購入したホールボディカウンターやゲルマニウム半導体検出器を用いて、内部被ばく検査や食品等の放射性物質の検査を実施しています。

このたび、平成 29 年度の検査結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 平成 29 年度の実施状況

(1) 固定式ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の結果

市民の皆様の健康管理に役立てていただくため、検査を実施しています。

平成29年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者1,574人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は1,571人で、全体の99.8%となっています。

受検者数	預託実効線量		
	1mSv 未満	うち不検出 (割合)	うち検出 (割合)
1,574	1,574	1,571 (99.8%)	3 (0.2%)

※ 預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量(成人は50年、子どもは70歳まで)
 ※ 検出限界値は、放射性セシウム 134=200 ベクレル、放射性セシウム 137=220 ベクレル(検出限界値を預託実効線量に換算した場合、「3～7 歳」の例で示すと、0.058mSv となります。

年齢別受検状況

年齢区分	～9 歳		10 歳代		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	55		111		219		351		343		495	
	28	27	60	51	139	80	202	149	158	185	288	207

※ 年齢は、H23. 3. 12 時点で区分しています。なお、4 歳未満の子どもの対象とした検査を開始したため、「～9 歳」の区分には H23. 3. 12 時点での未出生児も含まれています。

(2) 巡回方式による内部被ばく検査の結果

県が所有する車載式ホールボディカウンターにより、山間部や南部地区(勿来・田人)等、地理的な関係から固定式での受検が困難である地域を巡回しながらの検査を実施しています。

平成29年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者 310 人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は 309 人で、全体の 99.6%となっています。

受検者数	預託実効線量		
	1mSv 未満	うち不検出 (割合)	うち検出 (割合)
310	310	309 (99.6%)	1 (0.4%)

年齢別受検状況

年齢区分	～9歳		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	20		22		29		46		28		165	
	8	12	18	4	26	3	37	9	17	11	69	96

(参考 これまでの検査結果)
 年度別受検者数(市+県)の推移

年度	受検者数	預託実効線量 1mSv未満				
			うち不検出	(割合)	うち検出	(割合)
H23年度	3,100	3,100	2,754	88.80%	346	11.20%
H24年度	43,457	43,457	42,870	98.60%	587	1.40%
H25年度	18,678	18,678	18,546	99.30%	132	0.70%
H26年度	31,904	31,904	31,868	99.90%	36	0.10%
H27年度	3,350	3,350	3,322	99.20%	28	0.80%
H28年度	19,957	19,957	19,916	99.80%	41	0.20%
H29年度	1,884	1,884	1,880	99.80%	4	0.20%
合計	122,330	122,330	121,156	99.00%	1,174	1.00%

【問い合わせ先】

保健所総務課 放射線健康管理センター 電話 27-8560